

■ 特別技術功労賞

まつき あきら
松木 明

財団法人 日本電子部品信頼性センター 環境試験所 所長代理

電子部品の環境試験方法の標準化および普及活動

松木氏は、電子部品の環境試験（耐腐食性・耐候性・耐火性）に関する検査及び試験研究業務に励むかたわら、長年にわたる豊富な知識、経験をもとに、平成4年には（財）日本規格協会が行う JIS 原案作成に積極的に参加し、標準化活動に協力した。特に腐食試験分野において、平成元年より（財）スガウェザリング技術振興財団のガス腐食試験研究委員会に参加し、電子部品に関連の高い金めっきを中心に、IEC 及び ISO に規定のガス腐食試験がもつぱら欧州の気候をベースにした方法であるのに対し、日本の気候条件を加味した方法の研究、確立に努力し、また平成13年には（財）日本規格協会共通試験方法分科会委員に就任し、JIS Z 2371 塩水噴霧試験方法のレベルアップ研究に参画した。

これらの成果は、2006年（平成18年）に改正された ISO 10062（極低濃度ガス腐食試験方法）及び ISO 9227（塩水噴霧試験方法）規格改正の原動力となったのは、同氏の研究に帰するところ大である。

現在は、更にステンレス協会の ISO/TC156（金属の腐食専門委員会）の国内委員会 WG7 促進腐食試験分科会に参加し、斯界の品質及び技術の向上に努力するなど、その貢献度は多大である。

（推薦団体：財団法人 日本電子部品信頼性センター）

（所属・肩書きは受賞決定当時 敬称略）